



# 子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2017年5月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年も、「東北復興グリーンウェイブ」の植樹会が開催され、全国から届けられた東北の“どんぐり”の苗木が、岩手県山田町に植えられました。

“どんぐり”の苗木を育てる子どもたち、その苗木を植える子どもたち、  
また、新しい“どんぐり”の絆が生まれました。

(目次)

1. 「東北復興グリーンウェイブ」第四回植樹会、及び記念植樹レポート
2. 「東北復興グリーンウェイブ」東北の“どんぐり”を見送る活動レポート

●新・どんぐり博士の育苗講座(2017年5号)

## ■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

## ■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 国土緑化推進機構

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(公社) 大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(一社) 日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



## 1. 「東北復興グリーンウェイブ」第四回植樹会、及び「新生やまだ商店街」記念植樹レポート

### 1) 第四回植樹会レポート

2017年5月22日（月）に、岩手県山田町において「東北復興グリーンウェイブ」の第四回植樹会が開催されました。2015年の秋に、東北の六つの保育園（岩手県「駒形保育園」「山田町第一保育所」「豊間根保育園」「織笠保育園」「赤前保育園」宮城県「バンビの森保育園」）の子どもたちが拾い、全国の保育園、幼稚園、認定こども園に届けられ、園児たちによって苗木に育てられた東北の“どんぐり”の苗木が、今年も日本郵政グループのネットワークによってふるさとに戻ってきました。今年は、例年より多い210本の苗木が届けられました。苗木は、地元の保育園・保育所（「山田町第一保育所」「豊間根保育園」「織笠保育園」「船越保育園」）の子どもたち45名と、全国から集まってくれたサポーターによって豊間根地区の苗畑に植えられました。



みんなで一生懸命植えました。



山田町副町長の鈴木さん



日本郵政執行役の木下さん



記念撮影「お疲れ様でした！」

### 2) 「新生やまだ商店街」記念植樹レポート

植樹会終了後、今年も「新生やまだ商店街」への記念植樹が行われました。今回、植樹会に参加した山田町の四つの保育園、保育所の代表園児が、それぞれ一園に一本ずつ、4本の苗木を、「新生やまだ商店街」の昆会長さんたちと一緒に記念植樹しました。

**\* 上記活動の詳細は、ホームページをご覧ください。**

<子森ネットのホームページ>

<http://www.kodomo-no-mori.net>

<日本郵政のホームページ>

<http://www.japanpost.jp/csr/kids/report09.html>



新生やまだ商店街 昆さん



## 2. 「東北復興グリーンウェイブ」 東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート（詳細ホームページご参照）

### ●広島県「保育所・みのり祇園」東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2017年5月8日（月）・場所：自園 ・日本郵政グループ：安佐南郵便局 重田局長、配達員さん

\*小さな苗木は、東北のおともだちが山へ植樹し東北に豊かな森が育ちます。

「どんぐりのバトンタッチ！」 見えない絆で結ばれている子どもたちです。（園レポートより）



### ●石川県「平和こども園」東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2017年5月11日（木）・場所：自園 ・日本郵政グループ：穴水郵便局 前田局長

\*園の玄関で、見送られる苗木たち。苗木も子ども達も大きくなろうね♪



### 3. 事務局からのお知らせ

#### 1) 「東北の“どんぐり”を見送る会」の活動レポートをお送り下さい。

岩手県山田町における「東北復興グリーンウェイブ」第四回の植樹会が、盛況の中で終了しました。今年は、34園の参加園から、約210本の東北の“どんぐり”の苗木と応援メッセージが届きました。お忙しい保育の中でのご対応、活動を共に推進するものとして心より敬意を表します。せっかくの皆さんの活動ですので、事務局としては積極的にホームページ等でご紹介させていただきたいと思います。国連が定める世界の子どもたちの環境活動「グリーンウェイブ」にも登録させていただきたいと思います。まだ、活動レポートをお送りいただいていない参加園のみなさんは、是非、お送りいただけますと幸いです。お待ち申し上げます。



#### 2) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」のコンテンツが更新されました。

\*新コンテンツ⇒「東北復興グリーンウェイブ」“しいたけ”の森づくり

\*視聴方法

①「子森ネット」ホームページ (<http://www.kodomo-mori.net>)

⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル

②左記のQRコードからもご覧いただけます。



#### 3) 子どもたちの環境学習活動お役立ち情報：倉本聡「点描画展」のご案内

「樹は生きている！」をテーマに、「子どもの森づくり運動」の理念を共に構築していただいた脚本家倉本聡さんの「点描画展」が開催されます。子どもたちに環境のシンボルとしての森や樹がなぜ大切なのかを伝えるストーリーが得られる貴重な機会です。この機会にご観覧をおすすめします。（詳細、別紙チラシご参照）

#### ●新・どんぐり博士の育苗講座（2017年 5月号）～初夏から梅雨の苗管理～

季節は一日一日歩を進め爽やかな新緑の季節から一転して、梅雨を迎えようとしています。そして植物たちは、日々高くなる気温と雨を受けて精一杯生長し、自分の生息範囲を少しでも広げようと、周りの植物たちと競争を繰り広げています。

どんぐり博士：河内和男（子森ネット・森林インストラクター）



季節と植物たちは実直です。ゆっくりですが確実に進み生長しています。怠け者のどんぐり博士は、季節について行く事に追われ、繁茂した緑に圧倒されるばかりです。そして、苗たち（特に今年発芽したばかりの苗）は、これから厳しい季節を迎えようとしています。梅雨と盛夏です。この両極端の天候が、生長した植物には恩恵ですが、未熟な苗には試練となります。そこで、今回は梅雨の苗管理の注意点です。

曇りや雨の日が続き、湿度も高くなる梅雨の時期は、晴天続だった5月とは全く逆の考えで苗を見守らなければなりません。5月の間はこまめな水やりが必要でした。しかし雨が多くなる梅雨は水の与えすぎに注意です。特に子どもたちの水やりが習慣化されている園では注意が必要です。水の与えすぎで、土がたっぷり水を含んだままの状態が続くと、根に新鮮な空気が届かず根の細胞が呼吸を行えず死んでしまいます。いわゆる根腐れです。こうなると苗は枯れてしまいます。

そこで、梅雨の間の水やりはほとんど必要ありません。苗の置く場所は、水たまりができない、風通しと水はけ・日当たりのよい場所にしてください。場所にしてください（条件が悪い場合、スノコや台の上に置く等の工夫も）。苗を雨に当てることは何も問題ありません。けれど、貴重な晴れ間にはしっかり日光浴をさせてください。